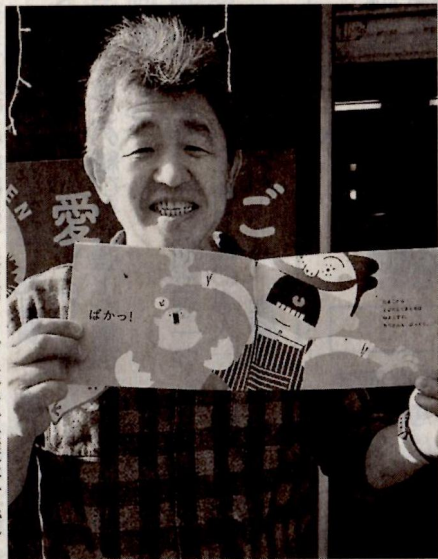


ひよこ→鶏→卵 命の循環絵本に

関東地区の養鶏家の有志で組織する「ぼくらのひよこプロジェクト」が、卵とひよこにまつわる絵本『にわとりからのおくりもの』を製作した。学校や病院などに配布した他、それぞれが経営する直売店でも販売。

リーダーを務める愛鶏園（横浜市）の齋藤大天代表取締役は「子どもが卵と命の関わりを考えるきっかけになってくれれば」と話している。

プロジェクトは、共同で開設した種鶏場・ふ化場のホームページ（H



出来上がった絵本と齋藤さん（埼玉県深谷市）

関東の生産者プロジェクト 親子で楽しんで

P)を刷新するために2年前に発足。HPで何を訴えるかを考えるうちに、消費者のイメージの中には、ひよここと卵がなくなっていくのではないのかと思に至った。

ひよこは卵から生まれ、元気な鶏が栄養豊富な卵を産む。その卵を人間がありがたく頂く。命の循環と不思議を、伝えたい。

料理をしようとおじさんが卵に手を伸ばすと卵からひよこが生まれる。母鶏が心配しているといかないので母鶏を探し、ひよここと母鶏を会わせてあげると、母鶏はおじさ

んに産みだて卵を置いてくれていた、というストーリーを、ユーモラスな絵に収めた。

卵は安売りが競争にさらされている一方で、養鶏場のイメージは良くない。卵の品質は鶏に影響されるのに、特殊な餌を与えた卵が目玉され、卵を生む元気な鶏のことは考えてもらえていない、という思いがある。愛鶏園の齋藤代表取締役は「命の輪を感じながら親子で楽しんでほしい」と話している。

絵本は1冊200円。

詳しくは神奈川養鶏連、
電話0299(27)6333。